

国際学研究科の履修上の注意

- [1] 授業科目表に掲げる授業科目を履修し、定められた単位数を修得してください。
- [2] 「共通科目」の「国際学研究入門」(2 単位)、「ジェンダーとリーダーシップ」(2 単位) および「国際学総合研究」(2 単位) は、国際学の学問的領域を理解し、研究の方法を身につけるためのもので、必修です。
- [3] 「国際エリア研究」「国際コミュニケーション研究」「国際グローバル研究」「GSE」は、本研究科での教育研究の柱となる科目群であり、そのいずれか 1 つを選択します。そして、選択した特定の科目群から 5 科目以上を履修して、10 単位以上を修得します。
- [4] 「演習科目」の「国際学演習Ⅰ」(2 単位)、「国際学演習Ⅱ」(2 単位)、「国際学演習Ⅲ」(2 単位)、「国際学演習Ⅳ」(2 単位) は、国際学についての研究能力を主体的に身につけるためのもので、すべて必修です。これらの演習はいずれも、学生が研究する学問分野に近い指導教員が担当します。
- [5] 本大学院他研究科および他大学院、「首都大学院コンソーシアム」、その他海外留学先等で修得した単位で、研究科委員会で認められた場合は、修了要件の選択必修 16 単位に含めることができます。
- [6] 「学位論文」についての要項は、別項に掲げてあります。
- [7] 4 月 10 日前後までに指導教員を決め、その教員と相談の上、当該年度に履修する授業科目を決定し所定の期日までに履修登録を行ってください。
- [8] 学部の授業を履修する場合には、指導教員及び授業科目担当教員の許可を受け、履修登録時に所定の用紙により教務課に届け出してください。ただし、修了要件単位に含めることはできません。

インターンシップについて

<目的・概要>

国際学研究科では、「インターンシップ」が「関連科目」の実習科目 2 単位としてカリキュラムに組み込まれています。

本科目の目的は、実際の就業体験を通じて、講義等で学んだ知識や技能を職場における実践に適用し、理論と実践を結びつけて理解する能力を養うとともに、企業人としての役割を学び、あるいは組織人として連携や協働を通して、職務を遂行する能力を養うことを目的とします。

<実施のための手続等>

1. 指導教員と相談のうえ、実施時期・実施先を決定する。

実施先の企業・団体は、学生支援課の扱っている企業・団体、一般のHP等に掲載されている中から学生自身が探したものであっても、実習条件を満たした適切な企業・団体であれば対象とする。

2. 事前学習・事後学習を含め、指導教員と相談のうえ実習計画をたて、『インターンシップ計画書』を作成し、指導教員を通して国際学研究科委員会に提出する。

3. 学生は、実施先と実施に関して必要な提出書類等の手続きを進める。

(1) 書類には、「履歴書・自己紹介書」「評価書」「契約書・覚書」「誓約書」「実習日誌」「評価表」などがあるが、企業・団体により異なるので確認をすること。(指定書式がない場合は、指導教員に申し出て、本研究科の書式を使用)